

# NOM-035 遵守ガイド

## 心理社会的リスク要因に関する規格の実施戦略

NOM-035-STPS-2018 は、事業場に対し、心理社会的リスク要因の特定・分析・予防、および良好な組織環境の促進を義務付けています。遵守しない場合、制裁の対象となり、また偶発的事態が発生した際には責任が加重される可能性があります。

### 1. 適用対象

メキシコ国内のすべての事業場に適用されます。義務の内容は労働者数により異なります：

| 労働者数      | 適用される義務                                               |
|-----------|-------------------------------------------------------|
| 15 人以下    | 基本的義務：予防方針、予防措置、深刻な外傷的出来事にさらされた労働者の特定、および情報の周知。       |
| 16 人～50 人 | さらに：心理社会的リスク要因の分析、結果に基づく措置および管理措置、健康診断・心理評価の実施、記録の保持。 |
| 50 人超     | 加えて、組織環境の評価も含まれる。                                     |

### 2. 主な義務

- 心理社会的リスクの予防および良好な組織環境の促進に関する方針を書面で定め、実施・維持・周知する。
- 深刻な外傷的出来事を経験した労働者を特定し、適切な対応につなげる。
- 心理社会的リスク要因の予防措置および職場における暴力への対応措置を講じる。
- 心理社会的リスク要因を特定・分析し、組織環境を評価する（事業場の規模に応じて）。
- 評価結果および講じた措置の記録を保持する。
- 情報を周知し、労働者を研修する。

### 3. 推奨される実施手順

- 方針のフォローアップ、職場における暴力の事案および苦情対応のための社内責任者（人事、安全衛生、または委員会）を指名する。
- 心理社会的リスク要因および良好な組織環境の範囲を周知し、明確化する。
- 予防方針を作成し、周知する。
- 規格自体の質問票または参考ガイドを適用する（他の手段を用いる場合は、妥当性に関する技術シートが必要）。
- 結果を分析し、是正措置プログラムを作成し、予防措置を調整する。
- プロセス全体を文書化する（周知の証拠、質問票の適用、実施した措置およびフォローアップ）。
- 定期的に見直す（少なくとも 2 年ごと、または組織に重要な変更があった場合）。

### 4. 注意点

- 質問票を適用するだけでは規格を遵守したことにはなりません。分析、措置および証拠が必要です。
- 職場における暴力（ハラスメント、いじめ）には、明確な対応および秘密保持のプロトコルが必要です。
- 記録を保管してください。STPS の立ち入り検査における主要な防御手段となります。

NOM-035-STPS-2018 の包括的な実施は、制裁を回避するだけでなく、職場環境の改善、離職率および欠勤の低減にもつながります。

本資料は参考用です。診断や専門的助言に代わるものではありません。